

足立区立梅島小学校
学校長 近津 勉 様

足立区立梅島小学校 開かれた学校づくり協議会

令和5年度 学校関係者評価書

1. 自己評価書全般について

本年度は、5月に新型コロナウイルス感染症が5類に引き下げられ、学校の教育活動も様々な制限がなくなっていく中での運営でした。そして、4つの学校教育目標「進んで学習することも」「仲良く助け合う子ども」「礼儀正しい子ども」「元気でじょうぶな子ども」を掲げ、これらの目標を実現すべく、下記の内容で、この1年を取組まれました。

- 「学力向上アクションプラン」に関しては、前年度の課題を解決すべく「基礎的・基本的な学習事項の確実な定着」を目標にして取り組まれました。その中で、「パワーアップタイム」「放課後補習教室」「サマースクール」「家庭学習週間」等による個別指導の充実を図ってこられました。区学力調査結果では2教科の通過率が目標設定を上回るなど、一定の成果を見せています。引き続き一人一人に応じた指導の充実を図り、子ども達の学力向上を目指してほしいです。
- 「体力向上」に関しては、校庭の人工芝張替え工事により、長期間に亘って校庭が使用できない状態でした。体育館の使用や、6年生の連合運動会に向けての練習を第九中学校の校庭で行うなど、工夫をされていましたが、来年度の具体的な体力向上策の実施とその成果を期待するところです。
- 「安全・安心な学校生活環境の充実」に関しては、いじめ対策の推進や特別支援教育の充実に取り組まれました。いずれも、現在の学校教育課題に即した重要な課題であり、継続して取り組まれることを期待します。特に、いじめ対策は、児童らによる自治的な取り組みにも力を入れ、子ども達自らが問題を解決できる力を身に付けていけるよう指導していただきたいと考えます。
- 「保護者や地域と共に子供を育む活動の充実」に関しては、ゲストティーチャー及び教育活動支援ボランティアの活用・PTA及び協議会との連携活動、学校ホームページの活用・保護者と学校との相互連絡が可能なメールシステムの活用など、十分な達成度を遂げ評価できました。

2. 学校から提示された「課題」や「保護者・地域への期待」について

- 「個別指導の充実」や「家庭学習週間」の取組により、全ての児童の学力向上に取り組んでおり、来年度の成果に期待しています。
- 学習に対する意欲を高め、自ら進んで考え、行動することができる子ども達に成長するよう、体験的な活動を一層重視してほしい。そのためには保護者・地域の方々の協力が不可欠であると考えます。

3. その他

現在の学校教育は、多様性への対応、いじめ・不登校等への対応、教員の働き方改革など、対応すべき課題が山積しています。そのような中で、子ども達の健全育成を図っていくためには、改めて学校・保護者・地域がそれぞれの役割を明確にしながらも、その連携を深めていくことだと考えます。今後も保護者・地域への情報発信を、強く、適時に実施していただき、子ども達の未来を共に考えるよう努めていただきたいと思います。